



# Sodick Times

2022年12月期(第47期)中間報告書  
2022年1月1日～2022年6月30日

## TOP MESSAGE

企業変革を機に、新しいソディックの創造と  
持続可能な社会の実現を目指します

株式会社 ソディック

東証プライム：6143



企業変革を機に、新しいソディックの創造と  
持続可能な社会の実現を目指します

代表取締役社長

古川 健一

## ▶ 経済正常化に伴い、通期業績予想を上方修正

株主の皆様には平素より格別のご厚情を賜り、厚く御礼申し上げます。

2022年12月期第2四半期の売上高は393億17百万円、営業利益は34億79百万円、経常利益は59億58百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は41億21百万円と、前年同期比で増収増益となりました。半導体等の世界的な部材不足、原油・エネルギー価格の高騰、急激な為替変動や地政学的リスク等による景気減速に対する警戒感が強まっていますが、経済の正常化が進み、EVや5Gの進展等、ものづくりの高度化による高精度機の潜在的な需要が拡大していくと見込んでいます。

このような事業環境を踏まえ、通期業績予想を下記の表の通り、上方修正しております。

(単位:億円)

	2022年12月期			増減 (期初計画比)
	第2四半期 累計(実績)	通期業績予想		
		期初計画	修正計画	
売上高	393	779	818	+39
営業利益	34	72	72	—
経常利益	59	72	90	+18
当期純利益	41	57	65	+8

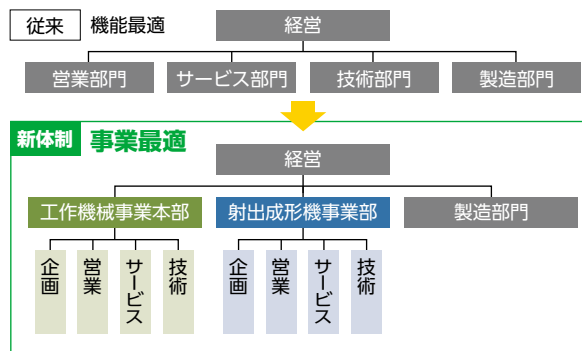
### ▶ 3つのテーマで組織変革を推進

デジタルトランスフォーメーション (DX) の推進、通信技術の革新、グローバル化の新潮流、SDGsに対する取り組みの加速等、事業環境が大きく変化するなかで、お客様のものづくりの課題を解決するために2020年から準備を進めてきた企業変革は、2022年1月、工作機械事業本部の発足とともに本格的にスタートしました。現在は(1)事業の総合的なソリューション化(2)アフターサービス事業の強化(3)DXの活用、この3つのテーマに取り組んでいます。

### ▶ 社会課題の解決に向けた取り組みを加速

大きく変化する事業環境のなかでも、自社の行うべきことをしっかりと見定めて前進するため、2021年に経営の重要課題としてマテリアリティの検討と分析に着手し、「進化するものづくりへの貢献」「環境マネジメントへの対応」「人材の多様性の促進」「ガバナンスの強化」の4つを抽出し、取締役会にて承認を得ました。今後は、財務的指標だけでなく、これらのマテリアリティに対するサステナビリティのKPIの設定を検討し、社会に対する価値創造に資

### 工作機械と射出成形機に関連する組織



する企業としての取り組みを深化、加速させていきます。

ソディックグループが今後も持続的に「お客様のものづくりを支えていく」ためには、当社自身が「持続可能」であることが不可欠であり、それを具体的に実践し、具現化することが私たちの役割です。いかなる局面においても、自社の存在価値を見失うことなく、社是である「創造」「実行」「苦労・克服」を基盤に進化を続けていきたいと思えます。

株主の皆様、どうぞ当社グループの未来にご期待いただき、引き続きご支援いただきますようお願いいたします。

### ソディックグループのマテリアリティ (重要課題) と関連するSDGsのゴール

進化する  
ものづくりへの貢献



環境マネジメント  
への対応



人材の多様性の促進



ガバナンスの強化



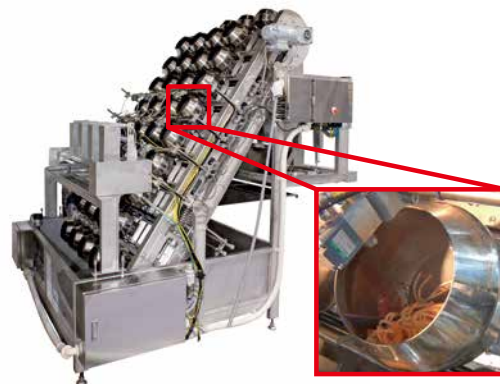
## 新製品

## パスタや焼きそばなどのほぐしと調味を1台で実現 「ネオマザール」を販売開始

新製品「ネオマザール」は、従来、手作業に頼ってきた調理麺製造におけるソースなど調味液等の添加や攪拌工程の無人化を実現しました。手作業工程の削減により雑菌及び異物混入のリスクを低減することで、調理麺商品の鮮度延長が可能となり、フードロス削減に貢献し、お客様のSDGsに対する取り組みをサポートします。

また、自動茹麺装置等の他装置との組み合わせや、麺のバリエーション、調味液の数や種類のカスタマイズにも柔軟に対応し、お客様の製造ラインに最適なソリューションをトータルで提供いたします。

本新製品の開発・発売開始を機に、拡大する調理麺市場に向けて食品機械の拡販を積極的に展開していきます。



▲ 手作業工程を削減し、鮮度延長、省人化を実現した「ネオマザール」

## サポート

## 製品導入後のサポート体制を強化 お客様専用ポータルサイト「Sodick Connect」を開設

当社製品を導入したお客様を対象としたポータルサイト「Sodick Connect」を開設しました。

同サイトでは、機械の操作・機能説明、消耗品の紹介、各種カタログ、イベントやスクールの案内など、製造現場で役立つさまざまな情報を配信しています。修理・点検サービスやスクールの申し込み、各種問い合わせも行うことができます。

将来的には、お客様が導入した機械と連動させ部品の交換期限をお知らせしたり、部品の発注もできる機能追加を計画しています。

今後もお客様と長期的に良好な関係を構築できるようサポート体制の強化とサービスの改善に努めるとともに、同サイトから取得・蓄積したデータをトータルソリューションの提案に生かしてまいります。



▲ 「Sodick Connect」  
現場で役立つさまざまな情報を配信



## 『第52回 機械工業デザイン賞 IDEA 最優秀賞(経済産業大臣賞)』 を受賞

「第52回 機械工業デザイン賞 IDEA」において、金属3Dプリンタ [LPM325S]が最優秀賞となる経済産業大臣賞を受賞しました。

本製品は造形精度・造形速度といった従来から求められてきた要件の性能向上に加え、製造現場において極めて重要となる「運用性の向上」「メンテナンス頻度の削減」「トラブル発生の不自然防止と低減」に対して、大幅な機能強化を図ることで、さらなる長時間高速安定造形を実現。現場における生産性向上の鍵となる稼働率アップに大きく貢献します。

今回の栄誉を励みに、一層の研鑽を重ね、精進してまいります。



▲ 経済産業省の吉岡勇治様(左)と当社社長の古川健一(右)



## 『第1回 FOOMAアワード2022 審査委員会賞』 を受賞

食品機械の「粉粒体急速冷却装置」が、国際食品工業展「FOOMA JAPAN2022」において、優秀な食品機械・装置を顕彰する「第1回 FOOMAアワード2022」の審査委員会賞を受賞しました。本アワードは、食品機械の技術研究・開発の促進及びその技術の普及を図り、食品産業界における生産性向上、省人化等の課題解決、新たな食品開発に貢献し、ひいては食文化並びに食品安全の一層の向上に資することを目的としています。

今回、同装置が製パン・製菓・製麺等で使用するさまざまな粉粒体の温度管理を実現し、生地温度、品質の安定化に貢献する製品として評価され受賞にいたりしました。今回の受賞を励みに、今後もよりよい製品の開発に邁進してまいります。



▲ 業界初、環境温度に影響されることなく粉粒体の温度管理が可能な「粉粒体急速冷却装置」

## 加賀事業所の食品機械工場を拡張 おにぎりや惣菜など新規食品加工分野へ事業領域を拡大

この度、食品機械事業の生産体制強化を目的に、加賀事業所内の食品機械工場を拡張することを決定しました。

食品機械部門の事業計画として、2026年度売上150億円を掲げており、同目標達成に向け、主力の製麺機と米飯製造システムの生産体制増強に加え、おにぎり、チルド米飯、惣菜、製菓等の生産加工機械分野にも事業領域を拡大していきます。

また、既存工場を改修し、不足している組立エリア及びショールーム、試運転スペース、資材倉庫を拡張することとしました。

引き続き国内外で増加が見込まれる食品機械事業の需要に対し、十分な供給能力を確保し、長期的な事業拡大のため、海外の食品機械生産拠点である中国・廈門工場とともに、供給体制をさらに強化してまいります。

### 新工場の概要

拡張面積	4,200㎡
建設費用	約11.7億円 ※既存工場改修も含む
生産品目	食品機械
建設計画	新工場(拡張): 2023年3月着工 2023年11月完成予定 既存工場改修: 2023年12月着工 2024年5月完成予定

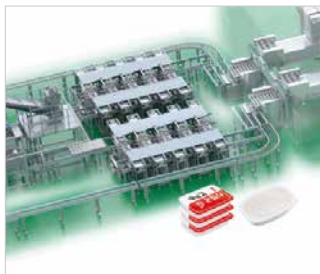
### 生産する食品機械



製麺機

[主要用途]

生麺、茹麺、蒸麺、冷凍麺、調理麺、乾麺、餃子皮、パスタ等



無菌包装米飯製造システム

[主要用途]

無菌包装米飯、チルド米飯



惣菜殺菌 関連装置

[主要用途]

弁当、ポテトサラダ、漬物、リング等



製菓関連装置

[主要用途]

フライ麺スナック菓子、プレッツェル菓子、グラノーラ等

## 展示会出展で当社製品をアピール

当社は「INTERMOLD2022大阪」及び「MEX 金沢2022」に出展しました。展示会は直接製品に触れることができ、お客様に当社の製品や性能をアピールできる絶好の機会です。また、製品の展示だけではなく商談の場としても重要な意味を持っています。

連日、多くのお客様に当社ブースにお立ち寄りいただき、新製品の紹介や製品のデモンストレーションを行うなど大変有意義な展示会となりました。

### INTERMOLD2022大阪 概要



**会 期**  
2022年4月20日～23日

**来場者数**  
15,890人

**出展機種**  
放電加工機「ALN400G iGE」  
金属3Dプリンタ「LPM325S」

### MEX 金沢2022 概要



**会 期**  
2022年5月19日～21日

**来場者数**  
32,243人

**出展機種**  
放電加工機「ALN600G」  
金属3Dプリンタ「LPM325S」  
電動射出成形機「MS50」

### Sodick Lounge

当社をよりよく知っていただくために、当社の取り組みや特徴的な数値などについてご紹介します。



ソディック  
ラウンジ

## 全国選抜社会人相撲選手権大会(内閣総理大臣杯) 相撲部が個人優勝、団体ベスト8

6月に開催された「第49回西日本実業団相撲選手権」において、当社の相撲部が2部団体で優勝しました。さらに、個人戦でも、軽重量級(100キロ以上115キロ未満)に出場した当社社員の三輪隼斗氏が優勝という輝かしい成績を残しました。

また7月に開催された「第51回 全国選抜社会人相撲選手権大会(内閣総理大臣杯)」において、三輪隼斗氏が見事に個人優勝いたしました。さらに、個人戦で福島喜貴氏がベスト8、団体戦もベスト8と、今後の活躍が期待されます。

これからも皆様のあたたかいご声援をよろしくお願いいたします！

▶ 地域社会への取り組みについてはソディックWebサイトもご覧ください。 <https://www.sodick.co.jp/sustainability/society/local.html>

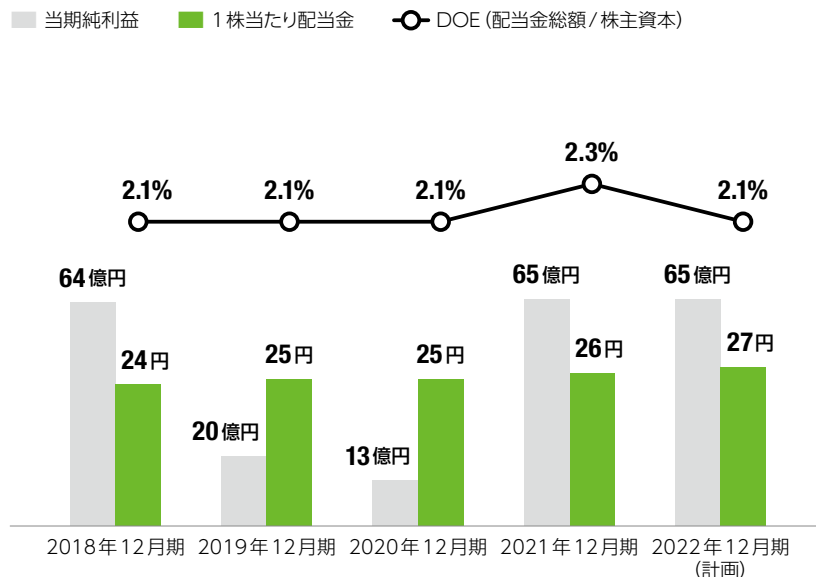


## 株主還元方針

当社では、将来の事業展開と経営体質の強化のために必要な内部留保を確保しつつ、安定的かつ継続的な配当を実施することを基本方針としており、DOE（株主資本配当率）2%以上を目標にしています。また、業績連動を加味した、より機動的な還元政策を実施すべく、総還元性向<sup>\*</sup>30%以上も併せて目指しております。

2022年12月期の中間配当は1株につき13円といたしました。期末配当は14円の予定で、年間配当は27円（前期比1円の増配）を計画しています。

<sup>\*</sup>総還元性向とは、親会社株主に帰属する当期純利益に対する配当額と自己株式取得の合計額の比率を表します。



### DOE (Dividend on equity ratio : 株主資本配当率) とは ?

DOEは、株主資本に対して、企業がどの程度の配当を支払っているかを示す財務指標です。株主資本という元手に対して、企業が株主様に年間どれだけ配当金としての還元をしたかを見ることができます。

$$\text{DOE} = \frac{\text{年間配当総額}}{\text{株主資本}}$$



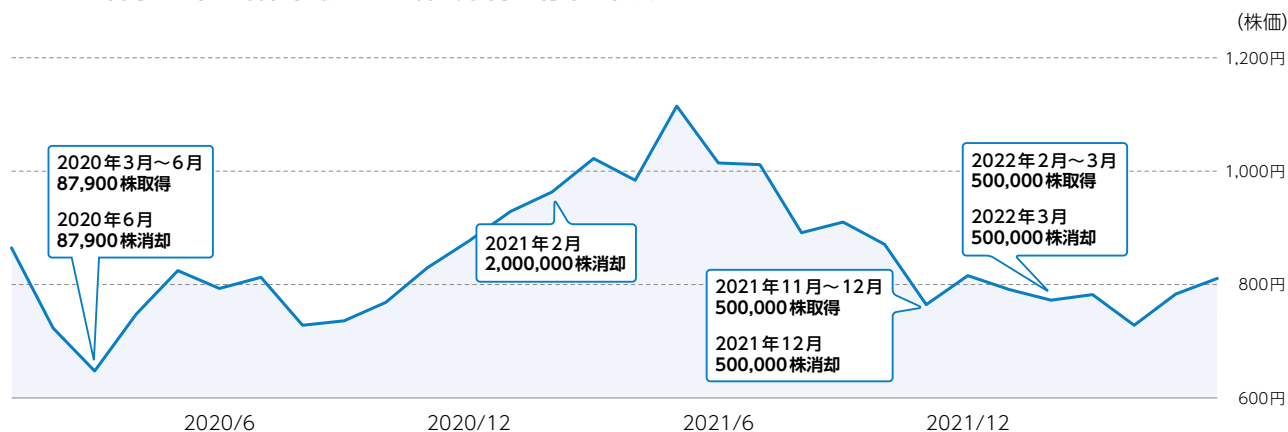


## 資本政策(自己株式取得・消却の実施)

株主還元強化及び経営環境の変化に対応した機動的な資本政策により、株式価値の向上を図るため、自己株式の取得及び消却を行いました。

今後も、絶えず変化する経営環境に対し、株式価値向上に向けた機動的な資本政策を実施してまいります。

### ■ 直近3年間の当社の株価推移と自己株式取得と消却の状況



### ■ 取得の概要

	2022年2月14日の取締役会における決議内容	取得結果
取得株式総数	500,000株(上限)	500,000株
取得価格の総額	500,000,000円(上限)	378,440,600円
取得期間	2022年2月15日～2022年3月9日	

### ■ 消却の概要

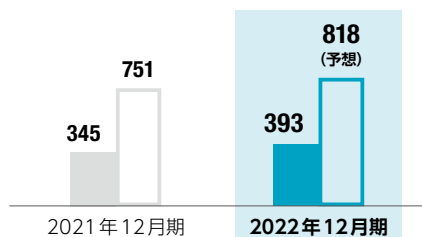
消却株式数	500,000株 (消却前発行済株式総数(自己株式を除く)に対する割合0.92%)
消却日	2022年3月31日

# 業績・財務ハイライト

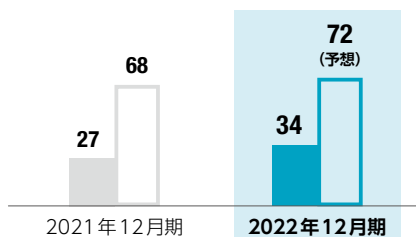
## 連結損益計算書の概要 (単位:億円)

■ 2Q累計 □ 通期

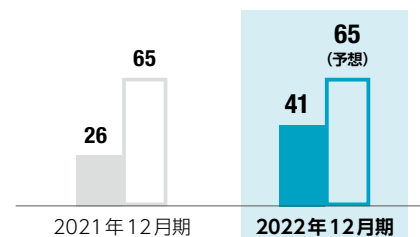
### ● 売上高



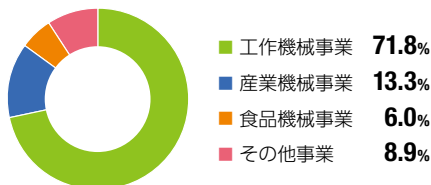
### ● 営業利益



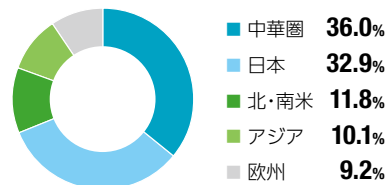
### ● 親会社株主に帰属する当期純利益



## セグメント別売上高構成比 (2022年12月期第2四半期累計)

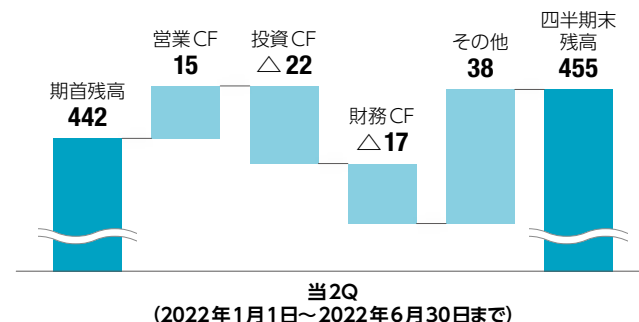
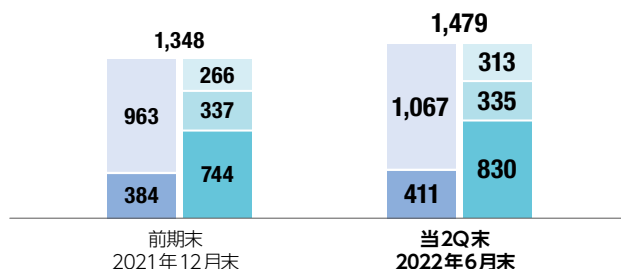


## 地域別売上高構成比 (2022年12月期第2四半期累計)



## 連結貸借対照表の概要 / 連結キャッシュ・フロー(CF)計算書の概要 (単位:億円)

■ 流動資産 ■ 固定資産 ■ その他負債 ■ 有利子負債 ■ 純資産



IRサイトでさらに詳しく

IRサイトでは、決算短信、決算説明資料など更に詳しい決算情報をご覧いただけます  
[https://www.sodick.co.jp/ir/ir\\_note.html](https://www.sodick.co.jp/ir/ir_note.html)

ソディックIR

検索



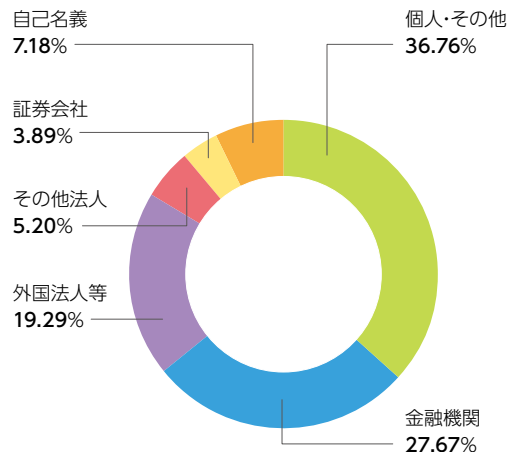
## 株式情報

発行可能株式総数	150,000,000株
発行済株式総数	57,792,239株
株主数	15,190名

## 大株主

株主名	所有株式数(株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	7,650,800	13.24
株式会社ソディック	4,151,258	7.18
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	4,025,600	6.97
JPモルガン証券株式会社	1,411,555	2.44
森田 清	1,075,070	1.86
ソディック共栄持株会	978,800	1.69
DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	963,700	1.67
有限会社ティ・エフ	895,000	1.55
株式会社三井住友銀行	850,000	1.47
古川 健一	815,101	1.41

## 所有者別株式分布状況



## 株主メモ

事業年度	1月1日～12月31日
株主確定日	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 定時株主総会、期末配当金:12月31日</li> <li>● 中間配当金:6月30日</li> </ul>
定時株主総会	毎年3月
公告の方法 (公告掲載URL)	電子公告により行う <a href="https://www.sodick.co.jp/ir/ir-f.html">https://www.sodick.co.jp/ir/ir-f.html</a> ただし、電子公告によることができない事故、 その他のやむを得ない事由が生じた時には、 日本経済新聞に公告いたします。

株主名簿管理人	三井住友信託銀行株式会社
郵便物の送付先	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
電話お問合せ先	TEL 0120-782-031 (通話料無料)
特別口座の管理機関*	三菱UFJ信託銀行株式会社
郵便物の送付先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都府中市日鋼町1-1 新東京郵便局私書箱29号
電話お問合せ先	TEL 0120-232-711 (通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所 プライム市場 証券コード:6143

\*特別口座に関するお手続きは2022年10月1日から三井住友信託銀行にてお取り扱いいたします。

# 会社情報 (2022年6月30日現在)

会社名	株式会社ソディック	資本金	246億18百万円
所在地	本社 〒224-8522 横浜市都筑区仲町台三丁目12番1号 TEL:045-942-3111(代表)	代表者	古川 健一
設立	1976年8月3日	従業員数	987人(連結3,772人)
		連結子会社	21社
		持分法適用の関連会社	1社

## 役員

代表取締役社長	ふるかわ けんいち 古川 健一	社外取締役	のなみ けんぞう 野波 健蔵※
専務取締役	つかもと ひでき 塚本 英樹	社外取締役	よしかず 芳一※
常務取締役	まえじま ひろふみ 前島 裕史	常勤監査役	あきお 昭夫
取締役	かねこ ゆうじ 金子 雄二	常勤監査役	ゆういち 雄一
取締役	たかぎ けいすけ 高木 圭介	社外監査役	まさひろ 正浩※
取締役	ファン ジンファ 黄 錦華	社外監査役	ながしま たかし 長嶋 隆※
社外取締役	いなさき いちろう 稲崎 一郎※	社外監査役	おねたき まり 大滝 真理※
社外取締役	くどう かずなお 工藤 和直※		

※東京証券取引所の定める独立役員であります。

## ソディック ホームページ 「IR情報」のご案内

株主・投資家様向けの情報を  
開示しています。ぜひご覧ください。

<https://www.sodick.co.jp/ir/>

## コーポレートサイト



## IRサイト



株式会社 ソディック

〒224-8522

横浜市都筑区仲町台三丁目12番1号

TEL:045-942-3111